







汚雑合流用立て管継手

CP120 CP145

いろいろな大便器にもらくらく施工

CP120、CP145が必要な理由

床上排水便器には、排水口の芯高さが 120, 170・・・etc といった種類があり、便器排水管を介して立て管継手の汚水受け口に接続されます。また雑排水管はスラブころがして、雑排水受け口に接続されます。ところが、従来の立て管継手では、汚水受け口をやかんの口のようなZ型にオフセットさせて設けていたので、汚水受け口の壁貫通部が長円になり、面倒な施工を強いられるほか、大きな占有スペースが必要でした。そこで、芯高さが 120, 170 の代表的な便器から「一直線」に立て管に流入できる汚水受け口と、これより一段下がった位置に雑排水受け口を設けたスマートな継手 CP120, CP145 が誕生しました。

大便器	便器接続管	継手	大便器	便器接続管	継手
					
便器芯 120mm 大便器		CP120CS	便器芯 170mm 大便器		CP145CS

納まり

1. 狭いパイプシャフトでも円形の抜き穴で施工できます。
2. 化粧プレートは円形の既製品ですみます。
3. ソフト巾木を切り欠く手間が省けます。

